

地域支援だより

群馬県立前橋高等特別支援学校 支援推進部

No.1 令和5年5月発行



薫風さわやかな季節を迎えています。新緑の香りを運ぶ初夏の風は、リラックス効果がありますね。ほのかに薫る若葉の香りに癒やされながら、業務を進める先生方もいらっしゃるのではないのでしょうか。授業の合間にできるセルフケアにもなるひとときを大切にしてください。そしてぜひ、子どもたちにも、新緑薫る風を感じ取ることができる体験の機会を設けてください。自然のアロマセラピーでもあり、多感覚を活用し身体を整えることを学べる良い機会となります。アロマセラピーは嗅覚へのアプローチです。日常生活の中でもできるセルフケアを子どもたちと共有することにより、子どもたちがストレス社会の中でできるセルフケア方法を学べる一助にもなります。

新緑に目を向け、若葉の香りに触れることは、自律神経を整える手法でもあります。生活の中で身に付けられるセルフケア方法を生徒と共有する時間も楽しまれてください！

個別の指導計画

学校名。		記録日。	
クラス。		氏名。	
本人の実態。			
今年度の目標。	【学習面】		
	【生活面】※社会性・対人関係を含む。		
指導計画。		具体的手立て。	
【学習面】		【学習面】	
【生活面】		【生活面】	
評価。		課題。	



個別の教育支援計画

個別の指導計画

引き継ぎ→作成へ！

新年度になり1ヶ月が経ちました。入学、また進級した生徒たちの個別の教育支援計画、個別の指導計画の引き継ぎ、そして作成を進められると良い時期です。新入生の場合には作成にあたり、出身中学から各計画の引き継ぎがあると作成しやすくなります。これまでの指導支援方法内容、中学時代の課題が残されていれば、ぜひそれらを活用し、各計画作成を進めてください。各計画が共通理解資料となり、支援方法が分かりやすくなる手段にもなります！

とはいえ、多忙業務の中の作成は極めて大変です！個別の指導計画作成において各教科の取組の記載が難しい場合には、学習面、生活面と大きな括りの中で、本人の特性上ポイントとなる支援方法を記載すると良いです。授業内で必要な支援を先生方が考えるきっかけになります。どのような視点を持ち、授業改善をすることが必要なのか、先生方が分かるポイントを記載し共有されると良いです。参考まで、簡易に記載できる様式を挙げておきます。学期ごと、または前期後期と評価・課題の記載は必須です！

社会性に繋がる指導 - その1



昨年度、本校における外部への学校評価アンケート内で、今後知りたい特別支援教育的アプローチについてお尋ねしました。複数ある項目内の「学校でできる社会性の育て方について」に、多くの先生方がチェックをされていました。今回は社会性に繋がる指導その1としての取組を記載します。

日頃授業開始終了時にしている号令は実は社会性を育てる手法の一つです。授業開始時の頭を下げて「お願いします。」、授業終了時の頭を下げて「ありがとうございました。」は基本的な挨拶の仕方を学べる絶好のチャンスでもあります。

卒業式を迎えるときには、全体の指導として礼や返事の仕方を身体を使い学ぶ機会を設ける学校も多くあると思われます。その指導を日頃から3年間継続することにより、3年後、進路実現をするにあたり、自然と身体で覚えた動きをすることができる生徒に出会うことができます。進路実現に向けて面接はつきものです。**特性のある生徒ほど、身体感覚を多分に使い、継続した指導が必要**です。進路実現に向けて今から取り組めることを実践していきましょう！号令時の指導例を下記に示します。

①起立

姿勢を正し体幹への意識。両手を脚の側面にぴったりと付ける。自身の手の温もりを脚に感じさせる。

固有感覚・触覚の活用



②注目

教壇に立つ教諭を見る。注視力への意識、他者の顔を見て挨拶の意識へ。

視覚の活用



③礼

1、2、3とカウント。3で顔を上げる。慣れてきたら心の中で自分でカウント。

聴覚の活用

①起立時補足→起立後、椅子を机の下に入れる指導も含むと、マナーある所作を身に付けることに繋がります！

④挨拶

「お願いします。」

姿勢を正し、腹式呼吸の意識、発声へ。

固有感覚の活用



④挨拶

「ありがとうございました。」

姿勢を正し、腹式呼吸の意識、発声へ。

固有感覚の活用

④挨拶時の補足

A) **固有感覚とは？** 自分の内部を感じる感覚。筋肉や関節を通して、身体の動きや位置を感じる感覚。発声は筋力が必要のため身体全身の筋力を整える固有感覚との関係性あり。運動をしっかりすることが大切です！

B) **腹式呼吸練習**→特性のある生徒は呼吸が浅い様子が見られます。深呼吸ができない！生徒も見られます。深呼吸をして心を整えることを学びながら腹式呼吸練習をすることも良いと思われます。授業中にできる手法は音読です！特に英語の音読は腹式呼吸を身に付ける効果があるそうです。英語の発音は、息を強く吐き発音をする必要があるためとされているそうです。音読は自身でできる多感覚を取り入れた学習方法でもあります。英語であれば正しい発音やイントネーションの仕方、国語等の英語以外の他教科であれば正しい漢字の読み方、抑揚等について事前指導をしてから取り組むことが必要です。自身の声で耳を鍛え、英語リスニング力を高められる方法でもあります。視覚聴覚を活用します。侮れない音読学習であります！ご活用ください！

C) **進路ガイダンス**等で面接のポイントとし「語先後礼」が指導されると思われます。それに合わせ、号令の順番を「起立→注目→挨拶→礼」に変えても良いと思われます。